

ボクのワタシの 学校自慢

番外編 第一弾

『ボクのワタシの学校自慢』では、鹿浜地域学習センター近隣小・中学校の学校自慢をご紹介します。

今月は、鹿浜五色桜小学校と鹿浜菜の花中学校の学校図書館の魅力に迫ります。

鹿浜五色桜小学校 学校図書館

児童が気軽に本を手取る環境づくり

鹿浜五色桜小学校では、児童が校内で本を手取る機会を増やすため、様々な工夫がされています。各フロアの階段横には座って本が読めるスペースが設けられ、教室には、本30冊を1つのボックスにセットした学級文庫が並びます。これは図書委員によって管理され、順に次のクラスへと回されるもので、学校図書館の厳選本を児童が教室で読むことができます。

丁寧なヒアリングで調べ学習をサポート

学校図書館支援員の中尾志保さんに児童が読書感想文を書くときのアドバイスについて尋ねると「読書感想文は自分の体験を踏まえて書くもの。どのような体験について書きたいのかを聞き、テーマが分かれば、それに関連する本を紹介します」と教えていただきました。

また、調べ学習については、漠然としたテーマから何を掘り下げて調べたいのかを児童と一対一で探していく相談日を今年から設けているそうです。

読書の楽しみを味わう読書旬間

年に2回開催される読書旬間では、学年ごとに本の冊数やページ数の目標が設定されています。

児童が読書したい気持ちを後押しするため、ブックトークや、図書ボランティアの皆さんによる読み聞かせ、図書委員会によるおすすめ本の紹介、人気テーマに沿った「本の福袋」などを用意しているとのことでした。



▲木のぬくもりが感じられる館内



▲各フロアの階段横にある図書コーナー



▲本の福袋としおり

▲図書ボランティアと学校図書館支援員



▲図書委員会の児童

鹿浜菜の花中学校 学校図書館

生徒自慢の学校図書館

鹿浜菜の花中学校の図書館は、明るく開放的な教室3クラス分程の広さの空間に、約2万冊の本がゆとりあるレイアウトで配置された書架に並べられています。

50席ある閲覧コーナーは定期考査前や高校入試前に多くの生徒が利用しています。

図書委員会作成によるおすすめ本のPOPは「本選びの参考になる」と生徒から人気です。

調べ学習のための資料や学習本が充実

生徒が授業で調べ物をする際にも図書館は活用されています。司書の細谷康美さんは「皆さん、各自が支給されたタブレットと図書館資料を併用して情報収集をしています。それぞれの利点を理解し、使いこなしている姿は現代の中学生だなと感じます」と語っていました。

鹿浜菜の花中学校の図書館には、中学生の学習に合わせた本が数多く所蔵されています。読み物や資料以外にも各種検定対策本や参考書が充実しているので、自宅だけでなく図書館でも学習ができる環境が整っています。

お気に入りの1冊を見つけてほしい

鹿浜菜の花中学校の図書館は、細谷さんと図書委員会の生徒が協力して運営しています。図書委員会の活動は、本の貸し出し、POPの作成、本の整理、閲覧用資料のスクラップまで多岐にわたります。

読書週間中に本を5冊借りた生徒がくじを引き、図書委員会の生徒が手作りしたしおりをプレゼントする「しおりまつり」は人気イベントの一つです。

委員長の田中柚羽さんは「お気に入りの1冊を見つけてほしいという思いで日々活動をしています」と語っていました。



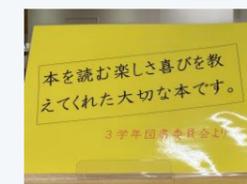
▲集中して自習ができる閲覧コーナー



▲検定対策本・参考書・課題図書のコナー



▲映画原作本やライトノベルが並び、生徒に人気の一角



▲図書館を彩るPOP



▲学校司書・細谷康美さん

お知らせ

次号では足立区のおいしい給食事業と鹿浜第一小学校の学校給食についてご紹介します。